

2025年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	☐ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（心理学）
出題の意図	心理学と関連領域、心理学研究法、統計学の考え方や、基本的な用語・概念についての知識を問うために「語句問題」を課す。また、それらを応用して人の行動や様々な現象について考えたり、そのメカニズムを解明するための実験計画をたててデータ分析をしたりする力を問うために「文章問題」を課す。

2025年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 心理学 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 2枚、解答用紙 6枚を配付する。

解答用紙は全部で6枚ある。問1から問3については、それぞれ1枚ずつ解答用紙を用いること。問4は8つの用語のうち5つを選択したうえで、1枚の解答用紙を用いること。残り2枚は下書き用とする。

次の問い全てについて解答しなさい。

問1 あなたは山道を歩いていたが、日が傾いて夕方になり夜になりつつある。夕方や夜は昼と比べて周囲の見え方や他の感覚にも違いが出てくる。それらの違いを、視覚をはじめ5つの感覚システムの特性をもとに説明しなさい。

問2 下図は、走り幅跳び中のステップ位置の標準偏差の変化を示している(Rosenbaum, 2009 を改変)。踏切時を0とし、19歩前からの変化が表示されているが、踏切の5歩前あたりから急激にステップ位置の標準偏差が減少している。このようなステップ位置のばらつきの変化がなぜ起こるのか、知覚と運動の連関の観点から説明しなさい。

* 図は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、出典箇所を参照するか、文学院教務担当の窓口で閲覧してください。

問3 統計的検定を行なう際に生じる可能性のある2種類の誤り（過誤）について、下記の用語を用いて述べなさい。ただし用いる順序は問わない。

第1種の誤り、第2種の誤り、有意水準、帰無仮説、対立仮説、検定力

問4 次の語句を簡単に説明しなさい。ただし下記8つの用語のうち5つを選択して解答すること。
（5つを超えて解答した場合、点数の上位から5つ分のみを最終成績の対象とする。）

- (1) リズムの引き込み (rhythmic entrainment)
- (2) 交絡 (confound)
- (3) 側抑制 (lateral inhibition)
- (4) 系列位置効果 (serial position effect)
- (5) 視覚的断崖 (visual cliff)
- (6) 近赤外分光法 (near-infrared spectroscopy: NIRS)
- (7) 運動の自由度問題(冗長性問題) (degree of freedom problem in motor control)
- (8) ダニエル・カーネマン (Daniel Kahneman)